

平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	建築学基礎演習 I	担当教員	建築学科教員		
学年学科	3年 建築学科	通年	必修	2単位	
学習・教育目標	(D-2) 90% E10%				
授業の目標と期待される効果： 建築学に対する留学生の理解を深める効果をもつ。建築の3つの分野である、構造・環境・計画（設計製図を含む）の授業内容に関する補助教材を用意し、説明とその演習により学修の深度を深める。 ① 計画・設計分野の理解が深まる ② 構造分野の理解が深まる ③ 環境分野の理解が深まる		成績評価の方法： 課題・演習等の成果で評価する。 達成度評価の基準： 下記における課題・演習等に対する成果の完成度が6割以上であること。 ① 計画・設計分野の理解が深まったか ② 構造分野の理解が深まったか ③ 環境分野の理解が深まったか			
授業の進め方とアドバイス： 同級生と一緒に受講している講義と平行してこの科目の講義/演習は進めていくので、担当教員の指示を受け、計画的に進めること。					
教科書および参考書： 特に教科書はなく、補助教材・適宜プリント等の資料を使用する。					
授業の概要と予定：前期					ALのレベル
第 1 回：授業進め方の説明/設計製図に関する演習－1（清水）					C
第 2 回：インテリアデザイン論・インテリア設計に関する演習－1（櫻木）					
第 3 回：設計製図に関する演習－2（清水）					C
第 4 回：環境工学に関する演習－1（青木）					
第 5 回：建築計画に関する演習－1（今田）					
第 6 回：インテリアデザイン論・インテリア設計に関する演習－2（櫻木）					
第 7 回：建築計画に関する演習－2（今田）					
第 8 回：環境工学に関する演習－2（青木）					
第 9 回：構造力学・材料力学に関する演習－1（犬飼）					
第 10 回：構造力学・材料力学に関する演習－2（犬飼）					
第 11 回：設計製図に関する演習－3（清水）					C
第 12 回：インテリアデザイン論・インテリア設計に関する演習－3（櫻木）					
第 13 回：環境工学に関する演習－3（青木）					
第 14 回：建築計画に関する演習－3（今田）					
—					
第 15 回：建築学に関する講義（清水）と成績評価方法の説明					

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：建築史に関する演習－1（清水）	
第17回：設計製図に関する演習－1（今田）	
第18回：情報処理に関する演習－1（柴田）	
第19回：構造力学に関する演習－1（犬飼）	
第20回：設計製図に関する演習－2（今田）	C
第21回：木質構造に関する演習－1（柴田）	
第22回：建築計画に関する演習－1（今田）	
第23回：建築史に関する演習－2（清水）	
第24回：設計製図に関する演習－3（櫻木）	
第25回：情報処理に関する演習－2（柴田）	
第26回：構造力学に関する演習－2（犬飼）	
第27回：設計製図に関する演習－4（櫻木）	C
第28回：木質構造に関する演習－2（柴田）	
第29回：建築計画に関する演習－2（今田）	
—	
第30回：建築学に関する講義（清水）と成績評価方法の説明	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	計画・設計分野の課題・演習等に対する成果の完成度が8割以上である。	計画・設計分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割以上である。	計画・設計分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割未満である。
②	構造分野の課題・演習等に対する成果の完成度が8割以上である。	構造分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割以上である。	構造分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割未満である。
③	環境分野の課題・演習等に対する成果の完成度が8割以上である。	環境分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割以上である。	環境分野の課題・演習等に対する成果の完成度が6割未満である。